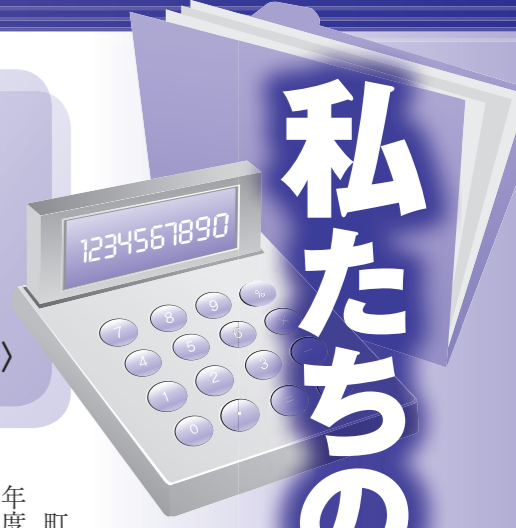


私たちの町の財政状況

財政指標の公表

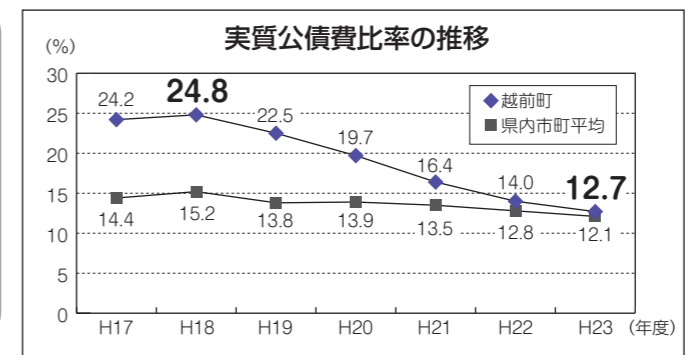


平成23年度決算
実質公債費比率
12.7%
 〈前年度と比べ1.3ポイント改善〉

実質公債費比率とは、借金の返済額とこれに準じる額（※）が、町税や国から交付される地方交付税などの標準的な収入に対して、どのくらいの割合になるかを表した指標です。
 この比率が高いということは、町財政に対する借金の負担が大きいということになります。

町の平成17年度から平成20年度までの実質公債費比率は、県の許可がなければ借金ができない18%以上で、借金の負担が大きい状況でした。
 このため、「公債費負担適正化計画」を策定し、借金の繰り上げ返済や金利の低い借金への借り換え、借金を財源とする事業の計画的な実施による新たな借金の抑制により、借金を減らしてきました。
 これらの財政健全化の取り組みの結果、実質公債費比率は、平成21年度では16.4%と18%を切り、平成22年度には14.0%、さらに平成23年度には1.3ポイント改善し12.7%となりました。

（※）公営企業（上下水道、病院）や一部事務組合に対する町からの負担金などのうち、借金の返済に充てられたとみられる額

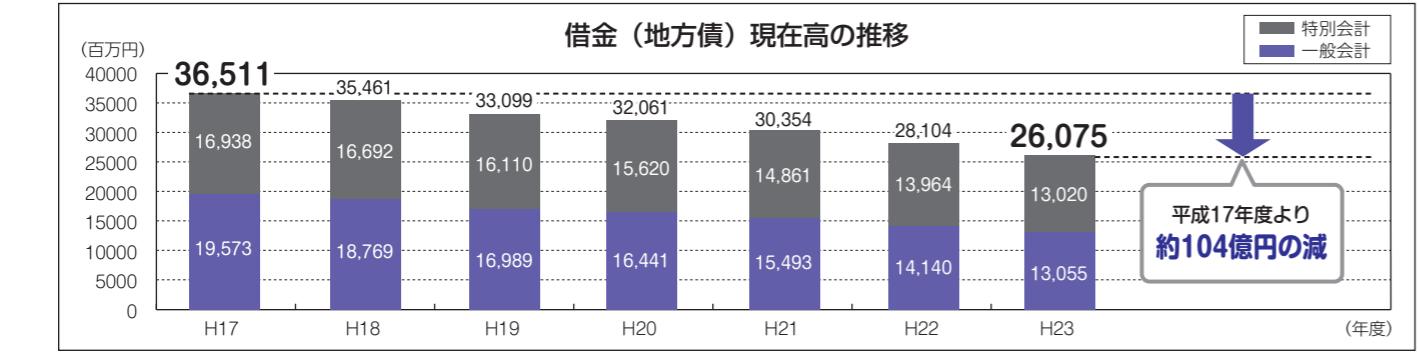


23年度の比率はピーク時（18年度）の比率と比べて、約半分近くまで改善しました。

平成23年度末の
借金(地方債)の現在高
約260億円

平成23年度末の借金（地方債）の現在高は、合併時の平成17年度末と比べ約104億円減っています。
 これは、毎年の返済に加え、これまでに約25億8,400万円の借金を繰り上げて返済したことや事業の計画的な実施により新たな借金を抑えたことによるものです。

借金には、返済の一部が地方交付税で手当てされるものもあります。（合併特例債・過疎対策事業債・災害復旧事業債など）これを上手に活用することで、借金の負担軽減を図ることができます。



平成23年度決算
健全化判断比率と
資金不足比率は
「健全」を維持

健全化判断比率と資金不足比率は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、全国の地方公共団体が同じ方法で算定し、公表することになっています。

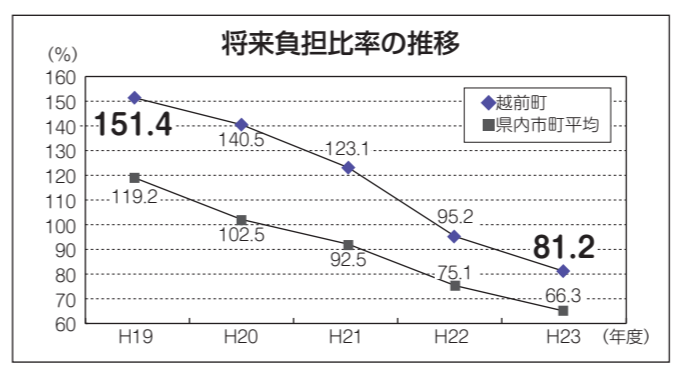
これらの比率には早期健全化基準などがあり、この基準を上回ると議会の議決を経て、財政健全化計画などを策定し、早期に財政の健全化を図らなければなりません。

平成23年度決算に基づく健全化判断比率と資金不足比率は、すべて基準を下回っているため、財政状況は「健全」となっています。

このように、財政状況は年々改善傾向にあります。財政運営はまだまだ厳しい状況

平成23年度決算
将来負担比率
81.2%
 〈前年度と比べ14.0ポイント改善〉

将来負担比率とは、借金や将来支払わなければならない負担などの現時点での残高が、町税や国から交付される地方交付税などの標準的な収入に対して、どれくらいの割合になるかを表した指標です。
 この比率が高いということは、現在背負っている借金などが財政を圧迫する可能性があります。



平成23年度は81.2%となり、前年度と比べ14.0ポイント改善しました。
 計画的な借金の返済や、職員削減などの行財政改革を進めた結果、平成19年度決算以降、町財政に対する借金などの将来負担は、年々減ってきています。

私たちの町の財政は、どのような状況になっているのでしょうか。
 法律で定められている方法で算定された平成23年度決算に基づく健全化判断比率などをお知らせします。

況にありますので、引き続き財政の健全化に取り組みする必要があります。

公営企業会計	平成23年度決算	経営健全化基準
簡易水道事業	資金不足なし	20.0%
公共下水道事業	資金不足なし	
集落排水事業	資金不足なし	
上水道事業	資金不足なし	
国民健康保険病院事業	資金不足なし	

指標	平成23年度決算	早期健全化基準
実質赤字比率	黒字	13.54%
連結実質赤字比率	黒字	18.54%
実質公債費比率	12.7%	25.0%
将来負担比率	81.2%	350.0%

用語の解説

【実質赤字比率】
 一般会計などにおける標準的な収入に対する赤字の割合を表します。越前町は赤字ではなく黒字です。

【連結実質赤字比率】
 すべての会計における標準的な収入に対する赤字の割合を表します。越前町はすべての会計が黒字です。

【実質公債費比率】
 標準的な収入に対する借金の返済額の割合を3年平均で表します。この比率が高まると、自由に使えるお金が少なくなり、住民サービスの低下をまねく恐れがあります。越前町は基準を下回っています。今後も新たな借金の発行の抑制や借金の繰り上げ返済などを計画的に行い、この比率を適正な水準に保ちます。

【将来負担比率】
 標準的な収入に対するすべての会計における借金や契約などで支払いを約束した経費などの現時点での残高の割合を表します。この比率が高くなるほど、将来財政を圧迫する可能性が高くなります。

【資金不足比率】
 公営企業会計における料金収入などに対する資金不足額の割合を表します。越前町はすべての会計で資金不足がありません。